

ヒートアイランドや気候変動が問題のいま、人に優しい都市のあり方とは

10/7 (月) 18:00 ~

会場：万世橋区民館

千代田区外神田1丁目1-13

参加無料！



千代田区のヒートアイランド現象

～再開発のあり方と緑の効用～



【講師プロフィール】

三上岳彦 [ミカミタケヒコ] 東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。お茶の水女子大学助教授、東京都立大学教授、帝京大学教授を経て、東京都立大学名誉教授・客員教授。専門は都市気候・気候変動。

今回は、都市のヒートアイランドや気候変動（地球温暖化、異常気象、気象災害など）研究の第一人者である三上岳彦先生のお話を伺います。今年も7月から連日、猛暑、ゲリラ豪雨が続きました。東京都心部の気温は、過去100年間で3℃も上昇し、地球温暖化を遥かに凌ぐ勢いで高温化、もはや人命に関わるような状態です。熱帯夜の日数は、千代田区と中央区が都内で最も多いことも明らかになっています。2000年以降ビルの超高層化が激しく進んでいること、近年樹木が伐採される再開発が頻発し全国的に問題になっていること、コンクリートアスファルト化の行き過ぎ等は住民の心を一層不安にしています。地球のため、次の世代のため、そして私たちが住む千代田区の未来のために、一緒に考えませんか。

「ちよだカフェ」には、千代田区のことをよく知る弁護士の大城聡さん・久道瑛未さんが毎回参加して下さいます。お2人は、常に住民の側に立ってさまざまな問題解決のために奔走する優しい弁護士さんです。



久道瑛未弁護士・大城聡弁護士

第3回 ちよだカフェ レポート

9月3日、「ウォークアブル（歩きやすい）な都市デザインとは」と題した講演会が開催され、約60人が参加しました。講師はスペイン登録建築家のホルヘ・アルマザンさん（慶應大学准教授）。神田警察通りの道路整備について、イチヨウを伐採せず、四季の草花が楽しめるなど、具体的な設計を2つ示し、スペイン・バルセロナの人々が集う道などを例に「人」「樹木」「車」の路上での共生や民主的プロセスについて語りました。



バルセロナでは30年ほど前、幹線道路では車が大渋滞し、騒音や大気汚染も発生。「このままでは人が住めなくなる」と、30年かけて、樹木のもとに人が集い、自動車が配慮して徐行する道路や広場を再生させています。現在も計画的に道路から車を減らして歩道橋を撤去し、緑を増やす計画を維持しており、住民は最初のステップから参画しています。

千代田区では、住民が計画を知るときには覆らないところまで来てしまっています。神田警察通りでも、イチヨウ伐採は住民にも知られていませんでした。その神田警察通りをめぐる住民訴訟（※）もいま、佳境を迎えています。ぜひご注目ください。

※次回裁判 10月1日（火）11時30分 東京地裁703法廷（傍聴先着順）

ちよだカフェ予告

第5回 11/5 (火) 19:00 ~ ※場所・内容は
第6回 12/9 (月) 19:00 ~ 決定次第お伝えします。